

令和4年3月16日の福島県沖の地震に伴う 土砂災害を対象とする大雨警報・注意報の暫定基準廃止について

仙台管区気象台は、地震の影響を考慮し引き下げて運用していた土砂災害を対象とする大雨警報・注意報の発表基準を見直し、令和4年12月13日から通常の基準により運用します。

令和4年3月16日23時36分頃の福島県沖の地震による地盤の緩みを考慮し、土砂災害を対象とする大雨警報・注意報の発表基準(土壌雨量指数基準)について、宮城県では震度6弱以上を観測した市町では通常基準の7割、震度5強を観測した市町村で通常基準の8割に引き下げた暫定基準で運用してきました。

大雨警報・注意報の暫定基準は、宮城県と仙台管区気象台が共同で発表する宮城県土砂災害警戒情報と整合をとりつつ、降雨の状況と土砂災害の関連を調査し、適切な見直しを行うこととしています。

今般、宮城県土砂災害警戒情報の発表基準を、令和4年12月13日をもって通常基準に戻すことに伴い、土砂災害を対象とする大雨警報・注意報の発表基準についても通常基準に戻すこととしました。これにより宮城県内の市町村の大雨警報・注意報の発表基準は全て通常基準となります。

なお、気象庁が提供する「土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)」[※]についても、通常基準による判定結果となりますので、引き続き避難対象地域の絞り込みに活用していただけます。

- 1 暫定基準を廃止する日時 令和4年12月13日(火)13時
- 2 暫定基準を廃止して通常基準に戻す市町村(別紙)

※土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)は、土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等を補足する情報です。詳細については、以下を参照してください。

土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>



土砂災害警戒情報・土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)とは
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/doshakeikai.html#b>

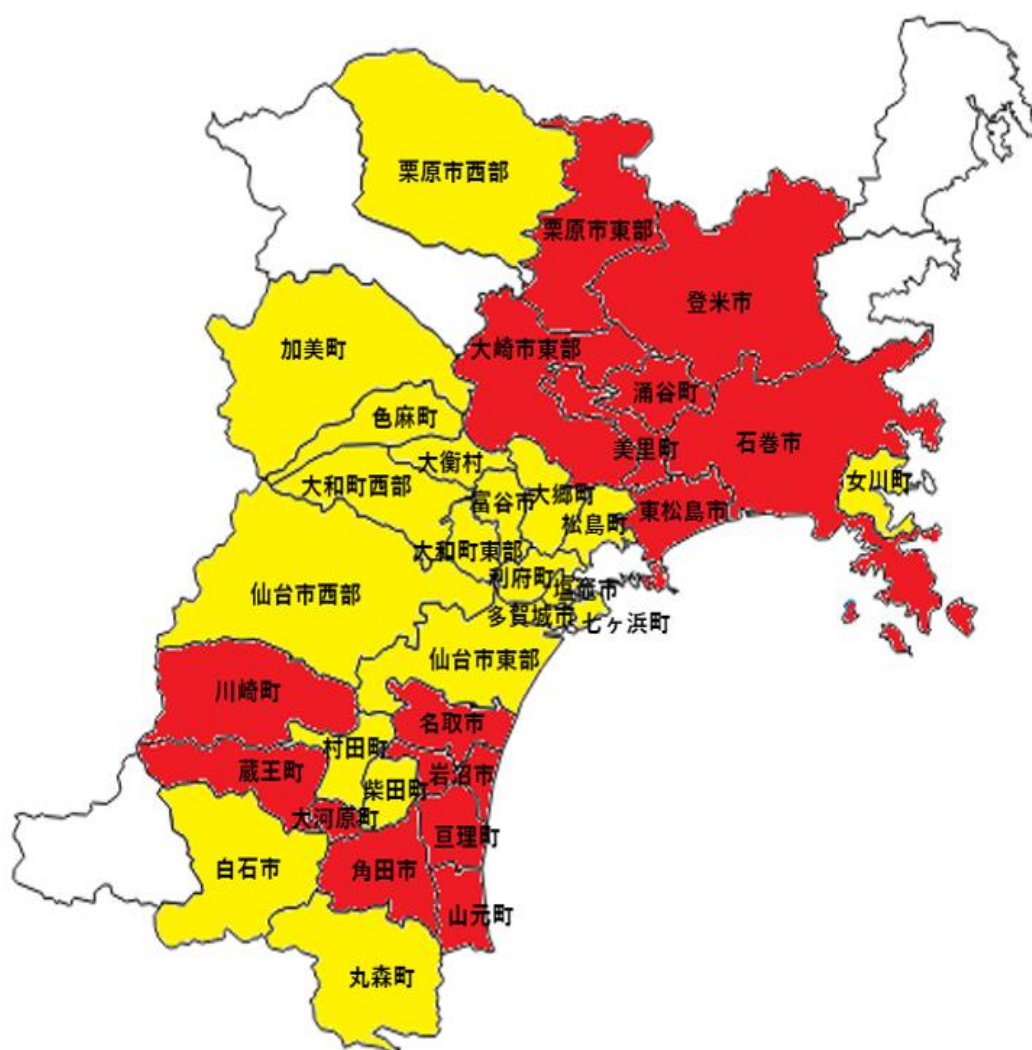


問合せ先

仙台管区気象台気象防災部予報課 担当:紺野 電話022-297-8134

大雨警報・注意報の暫定基準を廃止する市町村

宮城県



- 7割の暫定基準から通常基準に戻す市町
- 8割の暫定基準から通常基準に戻す市町村